第4学年1組道徳科学習指導案

- 1 主 題 名 友だちを大切に [B(9) 友情、信頼]
- 2 教 材 名 泣いた赤鬼
- 3 主題設定の理由
- (1) ねらいとする価値について

児童にとって、友達関係は最も重要な人間関係の一つである。よりよい友達関係を築くには、 学習活動や生活のさまざまな場面を通して理解し合い、助け合い、信頼感や友情をはぐくんでい くことが必要である。活動範囲が広がる4年生の段階で、友達のよさを発見することで友達のこ とを理解したり、友達とのよりよい関係の在り方を考えたりしようとする態度を育てることは大 切である。また、互いに助け合うことで、友達の大切さを実感できるようにすることが求められ る。

(2) 児童の実態について

本学級の児童は、男女にかかわらず仲がよい。休み時間には、男女一緒に校庭で遊んだり、リコーダーの練習をしたりといった姿が見られている。当番活動でも、自ら進んで取り組み、互いに協力する姿がよく見られている。一方で、仲のよい友達同士でも、相手の気持ちまで考えが至らず強い言葉を使ってしまったり、相手がうまくできなかったことを非難しすぎ、相手を傷つけてしまったりすることが度々あった。

そこで、自分自身の友達との関係について見つめさせ、自分のことだけでなく友達の立場になって、互いに思い合ったり助け合ったりして、友達とよりよい関係を築こうとする前向きな気持ちを育てたい。

(3) 教材について

人間と仲よくなりたいと願う赤鬼の気持ちを知った青鬼は、人間の家で暴れる自分を赤鬼がこらしめるようもちかけた。青鬼の計画通り、赤鬼は人間と仲良くなることができた。しかし、しばらくして青鬼の家を訪れた赤鬼は、青鬼が赤鬼のために身を引いて旅に出たことを知り、涙を流すという話である。

本時は、青鬼からのはり紙を読んだ赤鬼が涙した理由を考えさせることを通して、友達の大切さについての考えを深めさせたい。

4 ねらい

- 青鬼の自分に対する思いに気付いた赤鬼の姿を通して、友達を大切にすることについて考え、 友達とよりよい関係を築き、互いに理解し、信頼し合おうとする判断力や心情を育てる。
- 5 準備(教)ワークシート、人物絵、タブレット端末
 - (児) タブレット端末

6 指導過程

時間	学 習 活 動	指導上の留意点	評 価
5	1 本時の道徳的価値への方向付けを		
(5)	図る。		
	(1)過去、友達にしてもらって嬉し	○ 児童の過去の経験を振	○ 自分の経験を振り
	かったことについて想起し、嬉し	り返らせ、具体的なエピソ	返ることができたか (
	かった時の気持ちを、「心情メー	ードを発表させる。	発表・観察)

	ター」で表現する。 (2) 本時のテーマを知る。 友達を大切にするとはどうい うことか考えよう。		
25 (30)	2 教材を読んで、登場人物の気持ち や行動について考える。(1)教材を読む。	教科書の2次元バーコードを使い、範読の音声を流す。	
	 (2)教材の流れを確認し、それぞれの場面の赤鬼と青鬼の気持ちの変化について想像する。 △ 赤鬼と青鬼の気持ちの変化について想像しよう。 ・ 人間の家で暴れた青鬼をこらしめたときの気持ち (3)赤鬼が涙を流した理由を考える。 	けながら、登場人物やあらすじを確認する。 タブレット端末の「心情メーター」を活用し、赤鬼の気持ちの変化について想像させる。	
	 △ 青鬼からのはり紙を読んだとき、 赤鬼はどうして涙を流したのでしょ うか。赤鬼の気持ちになって、青鬼 に手紙を書いてみましょう。 ・ 青鬼がいなくなってさみしい。 ・ 青鬼にもう一度会いたい。 ・ 気持ちに気付いてあげられなく てごめん。 	書かせることを通じて、赤鬼が涙した理由について考えさせる。 グループではり紙に対する返事の内容を発表し合い、考えを共有させる。	付き、赤鬼が青鬼のことを思う気持ちを自分の言葉で表現することができたか。 (ワークシート)
15 (45)	3 本時のテーマを振り返り、これからの自分について考える。(1)友達を大切にするとはどういうことか考える。▲ あなたは友達を大切にしていま	○ 本時の内容を振り返り、ワークシートに自分の考えを記入させ、数名の児童	友達を大切にするこ
	すか。これからも友達を大切にするために、どんなことを大事にしていきたいですか。相手の気持ちを考える。やさしく接する。	に発表させる。 ○ なかなか考えがまとまらない児童に対しては、日常生活で、児童が友達を大切にしている場面を具体的に挙げ、よりよい関係を築いていこうとする意欲を高めさせる。	とについて考え、友達 とよりよい関係を築き 互いに信頼し合おうと
	(2) 本時の授業を通して、考えたこ とをワークシートにまとめる。	○ ワークシートに本時の 振り返りを記入させる。	